

きくら財高

第13号
平成25年
3月25日発行
鹿児島県立
財部高等学校

校訓
創造 自律 友愛

3年間の思い出を胸に

第62回卒業式

3月1日(木)、第62回卒業式が執り行われました。1組担任上畑由美子先生、2組担任永山寛三朗先生の呼名を受けた54名の卒業生たちは、近藤伸子校長から卒業証書を授与されました。

一人ひとり卒業証書を受け取っていく卒業生たちの姿は、入学した時に比べひと回り大きく成長して見えました。その成長ぶりに、保護者の方々の感慨もひとしおだったようです。

在校生代表の豊丸春菜さんが、「先輩方から学んだ、努力することのすばらしさ、仲間を信じることの大切さを忘れず、より高い志を持ってがんばっていきます。」と送辞を述べ、卒業生代表の前田紗季さんが「これまでの財部高校の伝統にさらなる輝きをかけられるよう頑張ってください。」と応えました。また、18年間見守り育ててくれた保護者の方への感謝のことに、会場全体が感動に包まれました。

式典後は各クラスで最後のホームルームを行い、生徒たちはこれまでの感謝と新生活の決意を述べ、級友・先生との別れを惜しみました。卒業生のみなさん、自分の夢のためにまい進していきましょう。



卒業生答辞



3年間一緒に過ごした
仲間たちと・・・



学校関係者評価委員会

3月13日(水)第3回学校関係者評価委員会を実施しました。

評価委員の方々からは、最後の新生たちが入学してよかったですと思える学校づくりを続け、有終の美を飾り、財部高校の歴史を永遠に残してほしいとのご意見をいただきました。



合格者集合

3月15日(金)に、公立高等学校入学選抜の合格者の集合がありました。



入学にあたっての説明や、教科書・学用品の販売、制服の採寸などが行われました。曾於市3校の統合により、今回の合格者が最後の新生となります。在校生、職員一同、新生を心待ちにしています。

同窓会入会式

2月28日(木)に同窓会入会式を行いました。卒業生代表として3年2組の大塚晃生君が入会のあいさつを行い、第62回卒業生54名が伝統ある財部高等学校同窓会の一員となりました。今年の卒業生を加えると、本校同窓生は6,134名を数えます。



卒業生のみなさんには、財部高校同窓生としての誇りを胸にそれぞれの進路先へ羽ばたいてほしいと思います。

町内小学校で読み聞かせ

3月6日(水)、19日(火)に、本校の福永世玲奈さん、前田晴菜さんが財部小・財部南小を訪問しました。二人は、「財部どん」の紙芝居や絵本の読み聞かせを行いました。子どもたちと触れ合い、朗読に聞き入る子どもたちの楽しそうな様子に、元気づけられました。後日、子どもたちからお礼の手紙が届き、心温まる交流となりました。



財部どん物語のはじまり
はじまり～

創作民話第3弾!

3弾「ゴッタン物語」の紙芝居が完成しました。今後は生徒による朗読の録音も行っており、今月中に本校のホームページに公開する予定です。



本校の美術部員と図書委員は、創作民話の紙芝居作りを取り組んでいます。「財部どん物語」に引き続き、第3弾「ゴッタン物語」

～ゴッタン物語～

3月・4月の 主な行事予定

- 3月26日(火) 春季休業
- 3月28日(木) 離任式
- 4月8日(月) 始業式・新任式 服装検査
- 4月9日(火) 入学式
- 4月10日(水) 課題考査(理・英) 対面式・部紹介
- 4月11日(木) オリエンテーション 課題考査(国・地公・数) 新生テスト(国・数・英)

※この後の予定は、新年度発表します。

離任式のお知らせ

3月28日(木)
9:00～
本校体育館にて
今回8名の職員が
離任いたします。